

進路だより第3号：令和元年6月21日発行

佐賀県立唐津東高等学校 進路指導部

〒847-0028 佐賀県唐津市鏡新開1番地 Tel 0955-77-1984

# 一念不動

## 「教育実習生、大学の紹介」

先日まで本校の先輩方が教師を目指して教育実習に励んでいました。今回はその先輩たちに大学の学部・学科を紹介してもらいました。大学でどのような勉強をしているのか、皆さんの進路を決める参考にしてください。

### 佐賀大学 教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻 英語科

私は佐賀大学の教育学部に進学し、小学校と中学校の教員免許の取得を目指して勉強しています。教員になりたい人にとって、佐賀大学の教育学部はとても充実した環境が整っていると思います。まず佐賀大学の教育学部では、連携教育を重視しているため、どのコースに所属していても2つ以上の免許を取ることができます。（2つ以上の免許を取らないと大学を卒業できません。）教員として働くうえで、他の段階の免許を持っていることは子ども達や学習内容の理解が深まることはもちろん、一貫校でも柔軟に勤務できるなど、メリットが多くあります。さらに、佐賀大学には幼・小・中と附属校があるため、年間を通して見学や実習に行くことができます。実際、私も大学1年時から夏休みに実習にいき、メインの3年時の1ヶ月実習ではその経験を活かして取り組むことができました。また、講義を通じて佐賀県の教育について学ぶことができますので、教員採用試験の役にも立ちます。（他県の大学で学び、佐賀県の教員採用試験を受けることももちろん可能ですが、その県の教育事情や試験内容を聞く機会が多いという意味では、佐賀大学で教員を目指す環境が最適だと感じています。）教育学部以外への進学を検討している人にも言えることですが、将来目指している仕事や勤務地によっては、どこの地域の大学に進学するかということが勉学や就職活動の充実度に影響してくるので、皆さんには偏差値や教育内容だけでなく、大学の所在地による自身への影響というものも考慮して大学選びに取り組んでほしいと思います。

また、私は大学生になってから長期休暇には外国へ行くことを目標にして取り組んでいます。その経験の中で、日本にいたら感じるができなかったであろうことをたくさん得ることができました。多くの大学では交換留学などの長期留学制度だけでなく、夏休み等を利用して参加できる短期留学の制度があると思います。（もちろん佐賀大学にもあります。）短期留学用の奨学金が支給される大学も多くあると思いますので、そのような制度を積極的に利用して大学生のうちに異文化の体験をすることをおすすめします。

みなさんの進路選択がより納得感のあるものになることを祈っています。後輩の皆さんの未来が素敵なものになりますように、応援しています!!

### 福岡大学 人文学部 教育・臨床心理学科

大学では、1・2年生で教育学と心理学の基礎を学び、3年生からは教育学を専攻して学んでいます。もちろん、心理学を専攻することも可能です。

教育学と心理学という2つの学問を学べる学科は珍しく、特に、教育学を学びたいという人にとっては、発達障害の子供に対する支援の在り方等の様々な教育問題に対し、心理学的面からの考え方も身につくのでとてもおすすめの学科です。

この学科の学生数は福岡大学の中ではそれほど多くはなく、その分教授の方々がたくさん相談にのってくださいます。大学の講義以外のところでも教授の方々とたくさん意見交換ができるのでより深い学習をすることができます。

取得できる教員免許は「中学校一種 社会」「高校一種 公民」です。しかし、小学校教諭を目指している方々も心配することはありません。

福岡大学では「小学校教諭一種免許取得プログラム」というものが存在します。このプログラムでは、千葉県の聖徳大学の科目等履修生として通信教育で免許を取得することができます。細かな手続きは大学の教職センターがやってくれるのでとても便利です。詳しくは大学に問い合わせてみてください。

また、大学では講義以外にも部活やサークル活動など楽しいことがたくさんあります。特に福岡大学は様々な学部が一つのキャンパスに集まった総合大学であるため、多数の部活やサークルが存在し多様な人々との新しい出会いがあります。いくつもサークルに入って大学生活を謳歌するもよし、アルバイトでお金をためて旅行に行きまくるもよし、部活に打ち込むもよし。大学生活をどう過ごすかはあなたの自由です。

みなさん、大学に入学して自由で楽しい人生の夏休みを過ごしてみませんか？勉強も忘れずに…

納得のいく進路を見つけてくださいね。がんばれ！！

### 佐賀大学 教育学部 学校教育課程 小中連携コース 初等教育主免専攻 英語科

佐賀で教員もしくは教育に関係する仕事をしたい人に、佐賀大学をお勧めします。

私が進学した教育学部は4つのコース・専攻に分かれています。コースと専攻によって、幼稚園教諭の1種免許、小学校教諭の1種免許、中学校教諭・高等学校教諭の1種免許、特別支援教諭の1種免許と違う4種類の教員免許のどれかが取得できます。

さらに、佐賀大学の教育学部の魅力は、日々の講義や実習の頑張り具合で、他の教員の1種免許も取得することができる場所です。私は小学校教諭の1種免許をとるコースに進学しましたが、講義や単位を多めに履修・獲得し、中学校教諭の2種免許・特別支援教諭の1種免許・幼稚園教諭の2種免許と、4種類の免許を取得する見込みです。

私は小学校教諭を目指しているのですが、大学に入った時点ではまだ、幼稚園教諭と小学校教諭、どちらになるのか、決めきれていませんでした。そこで、少し授業数は増えますが、両方の免許を取ることになりました。

佐賀の教員採用試験には、加点制度があります。最大20点の加点が申請でき、一次試験・二次試験とともに、有利になります。私は、中学校教諭の免許の取得見込みで10点、特別支援教諭の1種免許の取得見込みで10点の加点がもらえ、一次・二次ともに20点の加点を持って試験に臨みます。この20点は教師になるために大きく背中を押してくれるものであると思います。この加点制度は、本年度、佐賀県の教員採用試験を受験する、佐賀大学教育学部の学生の多くが利用しています。

佐賀大学教育学部の特徴として、1年時から実習の経験を積むことができる、ということがあります。1年生で3日間の小学校実習、2年生で中学校への授業実践、3年生で主免（小学校・中学校）への1か月の実習、4年生で併免（中学校・小学校）への2週間実習。私は、これに加えて、3年生の時に、特別支援学校へ2週間の実習に行きました。このような毎年の実習は、いろいろな児童・生徒に出会うことができたり、様々な分野に長けている先生方から多くのことを学ぶことができる貴重な機会だと思えます。

教員の仕事は大変だ、とマイナスなイメージを持つ人が多いように感じます。しかし私は、実習に行くと、生徒との時間がとても楽しいこと、児童が笑顔になったときに感じられるやりがい、児童の成長を感じられる喜びなど、教員にしかない魅力を感じ、教員になりたいと改めて決意することができました。

佐賀県の教員・教育に関する分野の仕事をしたい皆さん、大学へ行きながら、将来役立つ知識・技能が確実に身につく、佐賀大学教育学部を受験してみてもはどうですか？

### 九州大学文学部人文学科

私はイスラム文明学研究室に所属しており、13世紀トルコの思想家について研究をしています。研究テーマは人それぞれで、オスマン帝国の学校教育を研究する者、アラブの音楽やデザインを研究する者、イスラーム世界の同性愛の研究をする者などがいます。教授と准教授はそれぞれアッバース朝とオスマン朝の専門家ですが、イスラーム世界に関わることであればどのようなテーマも基本的に認められます。

研究の手法としては、歴史史料や既存の研究資料を読むことが中心です。史料・資料の読解のためには言語を習得する必要があるため、大学2年生時よりアラビア語・トルコ語・ペルシア語を学習します。アラビア語は日本語と語順も単語の仕組みも全く異なるため特に難しいですが、自分の常識が通じない物を勉強することは良い経験になります。一方トルコ語は日本語と似ている部分が多く、初学者にも親しみやすいです。

そもそも私がイスラム文明学研究室を選んだ理由は、「皆が知らないことを学んでみたい」という気持ちがあったからです。珍しい研究室であるため北海道や東京など全国から、イスラーム好きの独特な感性を持つ仲間たちが集まっており大変愉快的な環境です。夏にはアラビア語合宿と称して学生たちのみで別府や湯布院に出かけるなど楽しいイベントもあります。

九州大学文学部には、イスラム文明学研究室以外にも個性豊かな研究室が合計21個も揃っているので1つくらいは興味を持てるものがあるかもしれません。興味を持ったならば、「学びたい」と思ったならば、その熱意を持って是非九州大学文学部へ！

### 長崎大学 工学部 工学科 化学・物質工学コース

〈勉強について〉

私は、大学では金属と有機物を組み合わせて作る「錯体」というものを研究しています。研究の目的は、車の排気ガスや工場の煙に含まれている窒素酸化物（NOx）を還元して、大気中に最も多く含まれている窒素（N<sub>2</sub>）にすることです。と、少し難しいことを言っているようですが、実際私がこのような研究のテーマを与えられたのは今年の4月で、テーマはなんとなく理解していますが、そのために何をすればいいかなどはまったくわからない状態です。

長崎大学の工学部では、大学3年生までに英語などの「教養科目」と工学的な「専門科目」の授業を受けます。専門科目でも学習する内容は金属や物理、化学など多岐にわたり、イメージとしては広く浅く学習していく感じです。一部では、関連した授業もありますが、ほとんどが今の私の研究とは関係ないものばかりです。私は、化学の実験や研究がしたくて大学に進学したので、正直物足りないと感じています。なので、大学卒業後は、大学院に進学して研究を続けていこうと思っています。

〈長崎大学について〉

ほかの大学に行ったことがないので、他大学と比べることはできないので長崎大学がこのようにところどころということだけを書きたいと思います。長崎大学は、まず、便利です。長崎県と日本列島の西の端にありますが、大学の近くには路面電車が走っていて、休日市内の方に行くのに便利です。ただ唐津に帰ってこようとするとき福岡市か佐賀市を経由しないといけないので3時間ほど移動にかかってしまいます。

次に、大学には留学生を含めた外国人が数多くいるので異文化を知るいい機会になると思います。私自身留学生と一緒に休日にサッカーをしています。また、学校のプログラムでも、短期では一か月、長期では一年近いものがあります。実際に私は両方の留学を経験しましたが、どちらも有意義なものでした。

〈最後に〉

高校や大学で何をしたらいいですか？という疑問を持っている方がいるかもしれませんが、これを頑張ってくださいというものは正直ありません。一つだけ言えることは、高校の卒業式や成人式などの節目でそれまでの人生を振り返ったときに「これを頑張ったなー」と思えるようにしてほしいです。それが、勉強なのか、部活なのか、ゲームなのかは人それぞれでいいと思います。

### ※保護者の皆様へ

ご質問・ご相談等ございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。